

## 平成30年度 大阪市立桜宮中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)					平均無解答率(%)				
			国語A	国語B	数学A	数学B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
3 年	学校	83	77	64	67	49	65	1.5	0.4	1.5	8.2	2.3
	大阪市	—	74	58	63	44	63	3.6	4.1	3.7	14.9	5.9
4月17日	全国	—	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	3.1	3.0	3.3	12.6	5.0

# 平成30年度 大阪市立桜宮中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 調査結果から

### 【成果と課題】

#### <平均正答率・平均無解答率>

平均正答率では、国語Aで0.9ポイント、国語Bで2.8ポイント、数学Aで0.9ポイント、数学Bで2.1ポイント全国平均を上回りました。理科では0.9ポイント全国平均を下回りましたが、2ポイント大阪市平均を上回りました。

平成26年度から5年間の全国標準化得点(全国平均を100とした場合の本校の得点)を比較すると、すべての項目において昨年度を上回りましたが、平成27年度の水準には達しておらず、国語・数学ともA問題(主として知識)で5ポイント程度の差がありました。

問題の分類別にみると、短答式や記述式の平均正答率が全国と比較して高い傾向にあり、B問題(主として活用)の標準化得点がA問題と比較して3点ほど高いことからも、自分で考えて答えを導き出す力が身についていることがわかります。

平均無解答率においても、国語Aで1.6ポイント、国語Bで2.6ポイント、数学Aで1.8ポイント、数学Bで4.4ポイント、理科で2.7ポイント全国平均を下回りました。また、国語Aを除き、これまでの本校の無解答率と比較しても大きく減少しており、前向きに取り組もうとする生徒の学習意欲が伺われます。

### 【今後に向けて】

国語においては、多くの問題で全国平均正答率を上回りましたが、A問題では話し合いに関する問題で全国平均正答率、大阪府の正答率をも下回った問題がありました。また、生徒質問紙において「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」という質問に対する肯定的な捉え方をしている生徒の割合が、全国・大阪府の割合に比べて低い状態となっています。これらの調査結果から、とともに学び高め合う方法として話し合いという方法が有効であることを実感させる学習をしていく必要があると考えます。そのためにも、話し合いに向けての環境整備と問題提起の方法について考察しつつ、実践していきたいと考えています。

数学においては、多くの問題で全国平均正答率を上回りましたが、A問題では図形に関する一部の問題、一次関数の座標とグラフに関する問題が全国平均正答率より1ポイント以上下回り、B問題ではグラフから道のりを求める問題で4ポイント以上下回りました。特別な四角形にかかる問題、グラフから状況を読み取る問題で反復学習が必要です。